



どうしてルリカケスを動物園で育てているの？

日時：平成30年9月15日（土曜日）9：00～12：00

場所：龍郷町 りゅうがく館

講師：永井 弓子さん、落合 晋作さん、高橋 幸裕さん

参加者：児童・生徒41人、保護者23人、計64人



講師の先生方!!
ありがとう
ございました!



先生の話を真剣に聞いてます



疑卵づくり どんな卵ができるかな？



丁寧に色を塗っていきます




質問タイムではみんなからのギモンに
先生方が答えてくれました!

第4回目の講座はりゅうがく館に3人の講師の先生が来てくれました。永井先生や落合先生からはルリカケスの特徴や生態について学びました。その後、ルリカケスの疑卵づくりを体験。本物そっくりのうすい水色の疑卵や、可愛い、かっこいいオリジナルの疑卵ができました。最後には、東京の上野動物園の高橋先生から動物園のお仕事の話や、飼育員になるためにはどうしたらいいのか、他にもパンダの話など島ではなかなか聞けない貴重なお話を聞くことができました。

龍瀬小1年の小林優希さんは「ルリカケスは天然記念物だということをはじめて知った」、円小5年の徳重隆成さんは、「山にはマングース、ハブ、野ネコなど外敵が侵入してルリカケスを食べてしまい減少してしまいました。なので、動物園で育てて奄美にルリカケスが生息している数が少なくなった時に、すぐに返せるように保護している」ことがわかったそうです。

島に住んでいるととても身近に感じるルリカケスですが、実はとっても貴重な鳥であることがわかったと思います。他にも奄美にしかない動植物が島にはたくさんいます。そんな宝をこれから先もみんなで大切に守っていきましょうね。



今回の缶バッジは円のかがんばなトンネルでした。10月15日頃まで龍の目は条件が合えば見られるそうです。

